

Perspective

かつて、南科在人力が足りない中広さ1,608ヘクタールに達する園區を創設してきた。南部地区の環境資源が明らかに北部と比べ不足しており、開発作業は極めて困難だったが、2000年及び2002年の2回にわたり行政院の優秀計画賞を獲得したのは、まさに行政院が南科開発団隊を認め奨励している証拠といえる。「南部科学工業園區管理局」が2003年1月25日に成立してから、我々は南部地区ハイテク産業の発展と南北区域のバランスの良い発展という重要な任務を肩に、竹科、中科と手を取り合って協力し台湾を世界クラスのハイテクアイランドとして導いていきたいと願っている。

南科の各項建設が完成した後、将来の予定では下記を達成できる見込である：

- 一、テクノロジー成果と区域産業発展を結合し、新興産業の繁栄を促進する。
- 二、完備した研究開発場所と施設等ハード面環境及び技術サービスを提供し、産業が研究開発及び善産業構造の改善に従事できるよう促進する。
- 三、技術人才及び管理人才を育成し、地方テクノロジー資源を強化する。
- 四、地方公共施設の建設、地方就業チャンスの増加、区域のバランスのよい発展促進。
- 五、園區が景観の美しい永続発展する国際科学都会、活発でクリエイティブなアジアパシフィックテクノロジーの重鎮として、文化生態とテクノロジー工商活動を結合した多元的ハイテク園區になるよう建設する。

投資導入面では、2004年には30社の投資企業を誘致でき、売上高2,500億台湾ドル、就業人口数30,000人に達する予定である。

2020年には台南園區は最終的に300社以上のハイテク企業投資の工場設置を引き入れ、生産値が1兆4,000億台湾ドルに達し、12万6000個の就業チャンスを提供する予定である。路竹園區は最終的に100社以上のハイテク企業の投資を吸引し、年生産値は5,000億台湾ドル、5万2000個の就業チャンスを提供する予定である。

将来の展望

Perspective